筑附への受験を考えている皆さんへ

～在校生からのメッセージ～

筑波大学附属中学校の在校生が、
本校の魅力や受験生時代の経験、
受験生の皆さんへのメッセージをお伝えします。



受験生の皆さんへ

この冊子では、桐陰会（生徒会）の生徒たちが、
自身の受験期の体験や筑附での学校生活について
語ってくれました。
受験勉強の中で感じた不安や焦り、思うように
いかない時期をどのように乗り越えたのか。
先輩たちの率直な言葉が詰まっています。

受験期は、誰もが不安や緊張を抱えるものです。
勉強が思うように進まない日や、
自信をなくしてしまう瞬間もあるかもしれません。
そんな中で先輩たちがどのように
気持ちを整え、何を大切にしながら
毎日を過ごしていたのかを紹介しています。
筑附での学校生活についても知ることができます。



授業や学校行事、部活動、友人との関わりなど、
実際に通う生徒だからこそ伝えられる学校の魅力や
雰囲気が語られています。
受験のその先にある中学校生活を思い描くことで、
勉強への励みになるかもしれません。
この冊子は、皆さんが少しでも前向きな気持ちで
受験に向かえるよう願いを込めて作成しました。
その経験やメッセージが皆さんの背中をそっと押し
受験への力となれば幸いです。
皆さんの挑戦を心から応援しています。

Written by 2026 委員長陣



筑附のリアル

Q1.筑附の好きなところは？

① 自治・行事
（自分たちで創る・主体的な活動）

- 自治に特化している。自分が積極的に「やってみたい！」と声をあげれば、周りも自分をサポートしてくれて楽しく有意義な学校生活を過ごせる。
- 自治活動！
（楽しくやらせてもらってます）
- 運動会や学芸発表会をはじめとする学校行事の多くが、生徒自身の企画や話し合いによって創り上げられている。
- 「自分たちの学校生活は自分たちでより良くするんだ」という自主的な空気に満ちていて、何でも前向きに取り組める。
- 行事に全力で取り組めるところ。
- なんでも生徒達が主導となって色んなことが出来る所。
- 生徒が自ら、学校生活を良くしようと日々生活しているところ。

② 仲間・人間関係・雰囲気
（明るく、個性的で仲が良い）

- フレンドリーなところ。
- みんな明るく、運動ができる、一人一人違う個性を持っていること。
- 知識の引き出しが多い人や、ギャグセンスの高い人が集まることによって知性の高いユーモアを日々楽しめること。
- みんなが仲のいい雰囲気。
- 学年をまたいで仲が良いこと。
- 昼休みにみんなでバレーができること。

③ 授業・先生・部活
（面白い授業と信頼関係、充実した部活）

- 日々の授業が面白い。面白い人柄の先生が多い。自由。
- 面白い授業を受けられるところ。
- 先生方が生徒を信頼してくれている。
- 生徒と先生の仲の良い。
- 先生方が面白い。
- 部活動がとても充実している。
- 部活に軽音があるところ。

④ 環境・過ごしやすさ
（広々とした校舎と自由度）

- グラウンドや体育館が広い。
- 自分のやりたいことがやりやすい。
- 過ごしやすいところ。
- トラブルが少ない。
- 敷地が広い！！
- 山手線の内側でありながら校舎が広いこと。
- 宿題があまり多くないところ。
- 盛り上がる時とちゃんとやる時で切り替えができるところ。

Q2.筑附の魅力は？

① 雰囲気・人間関係・自治

- 自治に関心を持っている。
- 前に出てみんなを引っ張って行きたいと思っている人がたくさんいる。
- 仲の良さはピカイチ。新しいクラスで心配せず打ち解ける空気をどのクラスも持っています。
- たくさんの個性のある子がいるので、周りに感化され、自分が成長していくのを日常的によく感じます。
- 誰でも前に立つ仕事を担うことができる。
- 生徒自身がやりたいことを叶えるために動いてくれる。
- 文武両道な学校。
- 附属小出身と一般の小学校出身の生徒関係なく仲がいいです。

② 学習・授業

- ガツガツ勉強という感じではなく、学校生活を楽しめる。
- 「記録ノート」と「テストノート」（大変だけどすごい力がつく）
- 限られた条件の中で思考を続ける。
- 高校受験がある。
- みんなずっと勉強というわけではなく、楽しく過ごしているときの方が多い。

③学校生活・行事

- 面白い人柄の先生が多い。
- 自由。
- 先生はめっちゃ面白い。
- 生徒が主体となって学校の行事を行うこと。
- 想像の500倍楽しいよ。

テストノート 記録ノートとは？

テストノートは定期テスト終了後に自分の間違いを分析したり類題を作成し、自己分析と次回のテストの結果向上につなげるものです。

記録ノートは指定されている教科において、授業での先生・生徒の発言や要点をまとめるノートです。クラスの中で輪番制で回していきます。

どちらも大変ですが、自分の力になります。

Q3.思っていたのと違ったことは？

①学習・授業・課題

- 夏休みの宿題が多い。
- テストノートと記録ノートがあるなんて・・・
- 全ての行事ごとに振り返りをする時間があること。
- 出身小の壁を全く感じずに、男女仲も本当に良いです。毎日学校に通うのが本当に楽しくなります！
- 授業の楽しさ。
- 先生の教え方もわかりやすくて面白い授業ばかりなので、飽きずに、不得意教科でも楽しいと思ってしまいます。

② 学校の雰囲気・校風・ルール

- 先輩の雰囲気。
- 意外と(いい意味で)まじめじゃない人が多い。
- 給食がない。
- 意外と制服が暑い。
- 普段の宿題が割と少ない。
- 附属小出身生が想像よりも多かったです。
- 思っていたより行事が充実していた。
- 校舎は古く感じるけれど、比較的新しめの建物や設備がある。
- 校風自体は思ったより自由ではない。
- 全員がどこかで活躍できる機会があり、みんなで学校生活を作っていっている感じがあるところ。

Q4.筑附ならではの授業は？

国語

- 授業内容がクリエイティブ。
- 授業中のディスカッション。

数学

- 1つの問題を本質まで深く追究する。
- 普通の学校では行わない探究を行っているところ。
- 学年を超えた学習をする。

理科

- 内容もハイレベルで、テストも難しいことが多いですが、普通の中学校では教えてくれないような法則から幅広い範囲まで教えてくださり、とてもためになると同時に内容の飲み込みもスムーズにできます。

社会

- 知識のみではなく、なぜか、自分だったらどうするか、暗記ではなく理解をする楽しい授業です。

英語

- 一年生の始めの約2か月間は教科書を使わず、音声中心
- 英語初心者でも全然大丈夫！

総合

- 自分でテーマから考える探究
- 自分で考える力を大事にしていて、知識を覚えるだけではなく考えたり話し合ったり探究したりする学びが多いため、色々な視点からの考え方を知ることができます。
- 総合の授業で探究をすること。
- 筑附の探究学習では、他では得られない学びがある。

その他の授業スタイル・特色

- どのクラスも、教科書にとらわれず、より深い授業を受けられます。
- 教科書を起点にしつつ、探究へ進む授業が中心。
- どの教科でも、先生各々の教え方やこだわりがあり、知識を学ぶというよりも学び方を学ぶことに近い授業を日々受けることができる。
- 講話会が多い・講話会ですごい人が来る。

Q5.昼休みは何をしている？

- 中庭でバレーボール
- 図書室で本を読む
- 寝ている
- 会合に参加する・開く
- 音楽室で楽器の練習
- 教室で友達と話す
- 校内お散歩
- 締め切りを過ぎた課題をやる
- 委員会・係の仕事をする
- 弁当を食べ続ける
- テスト前は勉強
- グラウンドでキャッチボール

などなど・・・

Q6.所属している部活について

野球部
- 練習時間は短いので、休憩と練習のメリハリをつけて、練習するときは真面目にすること。とても楽しい部活動です。

ダンス部
- 学発のトリを飾ることが多く大変ですがやりがいと達成感がたくさんある部活です
- 大変な時期が多いけど学芸発表会での発表はたくさんの方に見てもらえる機会でありとても楽しいです！！

競技かるた研究会
- 学年関係なく誰が見ても仲がいいのが魅力です。かるたに興味があればぜひ入部してください。

排球部
- とても仲がいいし、みんなが一生懸命！

水泳部
- 意外と楽しいよ！

演劇研究会
- 演じるのはもちろんのこと、裏方や脚本と全て部員で行っていて楽しいけれど、協調性が大切です

バドミントン部
- 部員が多いので、沢山の人と仲良くなることができます！

家庭科研究会
- 手芸や料理なら好きなことができます。唯一茶道の体験をできます。

音楽研究会
- 一人一人が楽器を演奏し、演奏技術の向上を各々が目指して日々練習しています！
- 発表の機会も多く、入学式(部活としての参加ではないので参加は任意)、新入生歓迎行事、学芸発表会(いわゆる文化祭)、運動会、卒業生歓送行事、(三年生は)卒業公演など、一年を通して沢山の発表があることでモチベーション高く練習を続けられます！
- 自分がどんどん演奏が上手くなっているとわかるのでとても楽しいです！

イラスト研究会
- この部活では、名前の通りイラストを描くのですが、学発や新学期にMカリメという部冊子を発行するのがすごく楽しみです！学発では、大きな模造紙に部員全員がさまざまなキャラクターを描き、出来上がった模造紙は一年間の重みを感じられる大傑作です！

軽音研究会
- 先輩もいい人ばっかりで楽しい部活！
- たくさん発表します！気負わず筑附生になったら入ってください。
- 初心者大歓迎！ある程度できるようになったら忙しくてなかなか来れなくても大丈夫です！！
- 軽音が頂点。趣味広がるし今聞いている音楽の聞こえ方も変わるから迷ったら必ず入部。

すべての部活について
- 入りたい部活がなくても、とりあえず楽しそうなところに入った方がいい
- 「やったことないから」であきらめない方がいいです！きっと2年後には楽しんでますよ！

Q7.好きな行事とその理由は？

学芸発表会

- クラスや学年全員で意見を出し合い、ひとつのものをゼロから創り上げる達成感を味わえるからです。
- 自分たちで一つの発表を創り上げるのは過程も当日も言葉には言い表せないくらい楽しいです！
- とにかくずっと立っているほど忙しいが、その分達成感が大きい。
- 学発があるお陰で日頃の学校生活も頑張れますね。
- あの演示のときに観客の人が盛り上がってくれている雰囲気が好きだから。
- 学芸発表会を通してたくさんの人と関わり絆が生まれるから。
- あくまでも学習の成果を発表するという目的の中で、各団体が工夫を凝らした発表を行うのが最高です。
- 学芸発表会は部研究会や各教科、委員会などの団体の集大成が見られます！
- 外来からたくさん人が来て、学校のことを知ってもらえるから。
- 外来の人と直接話せる機会になるから。
- 自分の趣味を愛した結晶を出せる場所、笑われても気にするな。自分を出せ。
- クラスでの演劇、研究会や有志団体の演示を見るのが好きだから。

運動会

- 5つの組に分かれることで3学年の縦のつながりも生まれるし、何より競技もパフォーマンスもあることでそれぞれが自分のできることを探して全員で取り組める行事だから。
- 学年を超えて全力で応援しあって楽しめる運動会、団結する感じと興奮する感じ、運動会終わった後のやり切った感がすごいから。
- 学年を超えた仲がふくまれているから。
- みんなで団結してできる行事だから。

宿泊学習

- 1年生は「千葉県・富浦」、2年生は「長野県・黒姫」、3年生は「修学旅行」にいくのですが、どれも毎年ワクワクするような内容ばかりだからです。違うクラスの子とも仲が深まり、自分自身も新たに成長できます。

Q8.筑附に入って変わったことは?

自立・精神的成長

- 人前に出るようになった。
- 自分から勉強する姿勢。自分自身が自立できるようになったなと感じます。
- 小学生の頃は両親や友達、先生に頼りっぱなしのことを中学生では気づかないうちに自ら行うことが多いです。当たり前のことかもしれませんが、少しずつ成長していくことはすごく大切だなと感じられます。
- 自分で考えて行動すること。
- 一気に自分の行動を自分で責任をとるようになる。
- みんな挨拶やお礼がきちんと言えるというところが一番変わったと思います。

その他

- 先生の介入が減る。
- 自分の役割を意識する場面が増えて、己の得意・不得意を考えるようになった。
- お弁当になりました！ちょっぴり給食が恋しいかも。
- 運動会がより充実。
- ある程度制限はあるけれど、自治活動などでやりたいことをできるようになった。
- 起きる時間とテストの難しさ。
- テストの点数が大切になった。

Q9.筑附の雰囲気を一言で表すと？

- 文武両道
- 温暖湿潤
- 厳格
- 朗らか
- 元気
- 十人十色
- 過ごしやすい
- 明るい
- 個性
- 奇想天外
- 自律された自由
- 挑戦
- 優しい
- 思いやり

- 校則はあれど、ある程度の自由は保障されているし、生徒の普段の雰囲気からも、自分を律しながらも自由に過ごしていると感じたため。
- 入学前は不安もたくさんありましたが、今になってはそんなことあった？と思い出せないくらいの雰囲気で過ごしています。
- 困った時も個性ある友達がサポートしてくれるので、とても温かい雰囲気です！
- 非常に愉快な雰囲気。男女仲がいい。
- 本当にたくさんの強みや武器を持った人がたくさんいます。自分自身も負けないぞと強気にならせてくれるのももちろん、共通の友達もたくさんできます。
- お互いの個性を認め合い、挑戦できる自由。

受験勉強について

Q1.本校を知った時期ときっかけ

4年生・5年生が全体的に多い印象。
中には幼少期・小学1年から、という人も。

きっかけ

- 先輩方が窓から手を振ってくれて、とても楽しそうな雰囲気の学校だと思ったから。
- ピアノの先生に、向いてるんじゃない？と言われたこと。
- お母さんに連れられて学校見学に来たこと。
- 姉が通ってたので、多分姉が志望した時期に知った。
- 兄の中学受験。
- 親からすすめられた。
- 東大王の鈴木光ちゃんで知ったのが1番最初だと思います。
- 父親の母校だったから。

Q2.本校を志望した理由

学校の雰囲気・生徒の様子

- 学校説明会で卒業生が魅力を語っている姿やその話を聞いてここに入りたいと思ったから。
- 生徒と先生たちの質が良かったから。
- 校風がとてもいいから。
- 尊敬する先輩方が通っていたため。
- 友だちの雰囲気が自分に合っていると思ったから。また、数少ない共学のトップ校だから。
- 生徒の雰囲気が明るかった。
  （学校説明会の時に、窓から「楽しいよ〜」と叫んでいる先輩がいました）
- 生徒同士の中がいい。
- 自由な校風の学校を受けていたのですが、アカデミックなことを学べるので。

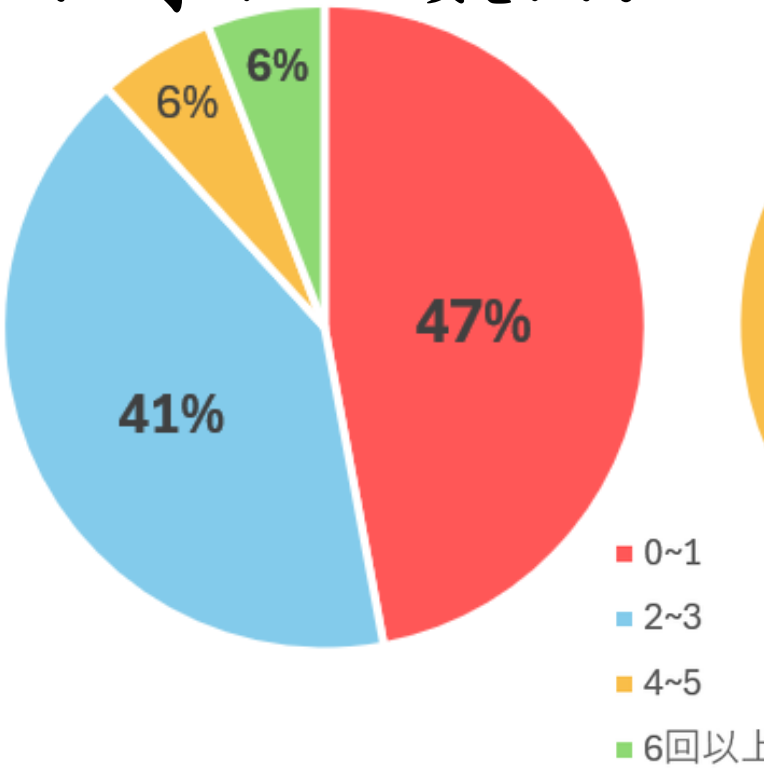
学校行事・授業

- 学校の行事を見に行って感銘を受けたから。
- 学発と運動会が楽しそうだった。
- 授業公開で授業が面白そうだった。
- 学発でとある団体の展示を見て入りたいと思ったっていうのが結構大きいです。なんならそこの団体目当てっていうのもありました。

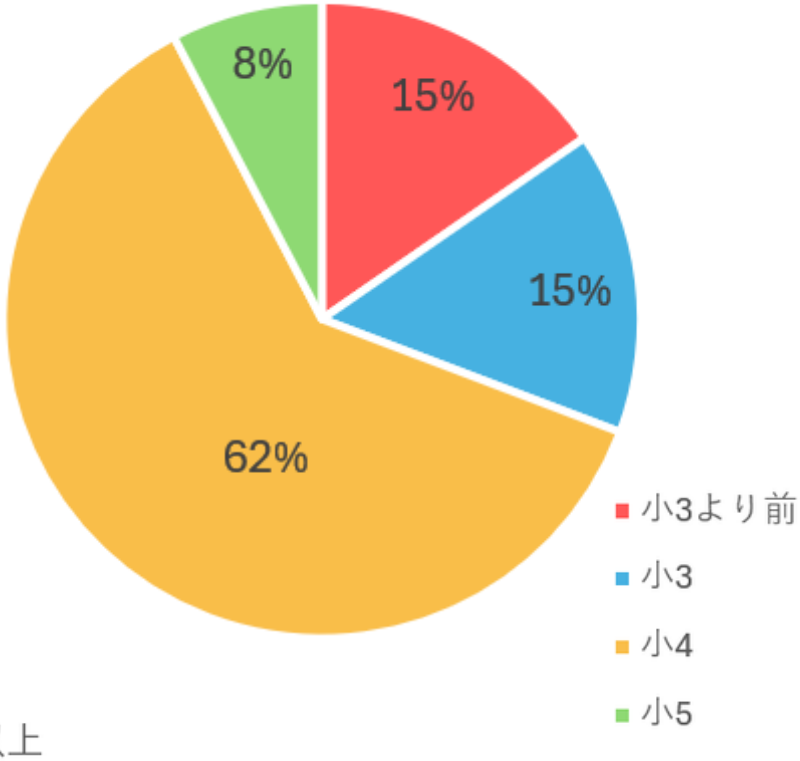
学校の環境・条件

- 国立だったため。
- セーラー服。
- グラウンドが広い。
- 学費が安いから。
- 生徒同士の仲がよく、国立で私立よりも学費が安かったから。
- 都心の割にグラウンドや校舎が広かったのも魅力ですね。

Q3.行事や説明会に来た回数は？



Q4.受験勉強を本格的に始めた時期



Q5.学校選びのポイント(他校含め)

生徒の雰囲気

- 私は、いくつか学校を見て、生徒の質が良いとその学校に対して好印象を受けることが多かったので、生徒達の雰囲気は意識して見ていた。
- 生徒達の雰囲気は意識して見ていた。
- 文化祭がどれくらい楽しそうだったかと、生徒の雰囲気（挨拶してくれるかなど）で決めました。
- 普通に学校生活を送っている生徒を見て仲の良さを見ていた。

学校の空気感・施設・学習

- 学校の空気感。直感的にいいなと思った学校はたぶん自分に合った学校。
- 校舎など、設備面をもっと見ればよかったと思います。
- トイレは見ておこう。
- 授業の様子をみておけばよかった。
- 授業風景とか校内。
- 学習の進度ですかね。塾に行ってる人がどれだけいるかとか。
- 私は、いくつか学校を見て、生徒の質が良いとその学校に対して好印象を受けることが多かったので、生徒達の雰囲気は意識して見ていた。

その他

- 先生の存在感が薄い方が自由な校風だから、先生の存在感を気にした方がいい。
- やっぱり部活です。その後自分が生活することを考えて雰囲気や活動内容をよく見ておくべきだと思います。

Q6.入学を決めた最後の決め手

学校の雰囲気・楽しさ

- 雰囲気も楽しそうだったから。
- 生徒同士の中の良さ。
- 生徒が一番楽しそうに過ごしていた。
- 楽しそうだったから。

行事・部活の魅力

- 運動会の本気度が高いのが良かった。
- 学校説明会で質問対応が良かったこと。
- 学発。
- ある部活に入りたかったからですね…！

その他

- 某有名塾の指定校かつ、共学。
- 学費。
- 偏差値！！
- 共学の方が多様な価値観が学べて、大学や今後の人生で役に立つと思った。

Q7.やっておいてよかった勉強法

日々の学習・基礎

- 間違えた問題を完璧になるまで繰り返す。（特に基礎）
- 算数とかは数やっとけば引き出しが増える。
- 計算と漢字と基礎問題をさぼったので反面教師にぜひしてください。
- A4くらいのリングノートに過去問の解答用紙と解き直しをしていた。
- 過去問を解く。
- 暗記系は、一問一答形式を解いてました。
- 間隔反復。（エビングハウスの忘却直線に基づいて間隔を空けて復習を繰り返した)
- 好きなことや気になったことを調べて、親などに説明すること。
- 基礎の軽いもの（例:日本国憲法前文、年号暗記など）を繰り返す。

生活習慣・健康管理

- しっかり寝て朝ごはんを食べてから勉強すること。
- 夏休みはいつもと同じ時間に起きて寝ること。(気を抜かない)
- 平日は10時には寝る、塾から帰ったらもう勉強しないで寝る、朝は寝れるだけ寝る。
- 寝る前に今日やったことを書き出す。
- 寝る前にやったペーパーを布団まで持って来て見直す

Q8.苦手科目・分野の乗り越え方

アプローチ方法

- 超苦手な状態からちょっと苦手な状態に持っていけるようにとりあえず基礎を大切に勉強していた。
- 基礎を詰めた。
- 問題を解いて解いてときまくる。
- 間違えた部分をピックアップして、見返してました。あとは量をこなす！
- 家族や塾の先生に協力してもらって、一問一答プリントを活用してできるだけうろ覚えでも知識を入れた。
- できるようになるまで繰り返してやり方を覚える。（算数、理科の物理の計算）
- 間違えた問題を何回も解きなおして、解き方を覚えた。
- 社会はまずとにかく暗記しましょう。

戦略・筑附ver

- 筑附の場合社会や理科の配点がそれほど大きくないので案外どうにかなります。
- 社会が苦手だったので、得意だった算数や国語、理科でカバーしました。
- 他教科でカバーする。
- ある程度できたらそれ以上はあきらめる、高望みはしない。
- 正直乗り越えられていない。頑張って平均位は取れるようにして得意な教科で稼げるようにした。

具体的な対策・国語

- 国語が苦手だったから、選択問題は選択肢を前半と結論に分けて、結論を見て選択肢を絞ってから、前半との因果関係が破綻していないかをみれば2つくらいに絞れるから、あとは本文を見て考えるって感じにしたら選択問題はだいたい解ける。記述は満点を狙いすぎずに結論と文末を当ててあとは因果関係が一応成立してる程度でOK

Q9.「こうしておけばよかった」こと

体調管理

- 体調管理に気をつければよかったと思います。
- インフルをやって一校受けていないので、体調管理はしっかりすること。
- 体が本当になまるから体をもっと動かしておけばよかった。(ストレッチするとかだけでも)
- とある一月校私は保健室受験しました。

受験勉強の進め方

- 苦手教科の対策をしておけば良かった。
- 過去問もう少し解いておきたいな。
- 自分から勉強の計画を立てる癖をつけたほうがよかった。
- 強いて言うならもっと早くから頑張っておけば良かった。

試験本番

- 計算過程がわからなくなったので、式を丁寧に書いておけば良かった。
- もっと歴史の出来事と時系列を覚えておけばよかった。
- 歴史や公民の暗記をもっとやっておけばよかったと思う。

その他

- しいて言うなら1週間前にはもっと緊張感を持ってもよかったかもしれない。
- もっと小学生の自由な時間を謳歌しておけばよかった。

Q10.本校の過去問についてアドバイス

時間配分

- 時間がかなりシビアなので、時間内に解くことを練習しておいた方が良い。
- 理科社会時間気をつけて算数はとにかく時間勝負。
- 問題数を掴めたら、あとは一個一個を早めに解くこと 少し引っかかるような問題でいちいちナーバスにならないこと。（これは本番も同じかも）
- スピードが命だから、まずはスピードをつけてから正確性を身につけてほしい。
- 特に数学が時間がないと感じるので素早く的確に解けるようにしていくといいと思います。
- 結構難易度は軽めで量が多かったり、暗記よりは思考型が多かったイメージです。

解き方・テクニック

- 分からない、考えてもすぐ解けないだろうと思った問題を一旦飛ばして先に進むことも大事です！
- あとから見た時に全然わからなかったのか、悩んだのか、勘なのかわかるように〇×△でも問題にマークをしておくことで、直しをする時に分かりやすくなります！
- 点数を取り切ること。あきらめないこと。頑張れ！
- 理科社会は一通り基礎を暗記した上で意見を求められたり、理由や仕組みを聞かれた時にさっと答えられるようにしておくのもいいかも！

教科書・基礎の活用

- 算数は塾で網羅できない内容（データなど）も出るので、教科書を見ておくと良いかも。
- 算数に限らず、本当にやることがなくなったら教科書を読みましょう。
- 素直な心で解きましょう。

モチベーション

- 偏差値届かなくても過去問を見て自分に合うなと思ったら全然目指せるから頑張って！
- 今の形式になってからの年数が少ないから大事に解くこと。
- 当日は、自分が受からなければ誰も受からんよというマインドで受けるといいよ。

Q11.モチベーションが下がった時は？

気分転換・娯楽

- 好きな曲を聴く。
- 一旦ゲームすれば、やりたくなる時が来る。
- 授業を目標に生きる。
- 公園で友達とドッジボールしたり、鬼ごっこしたりしてた。
- 推しの動画を見てこの人に会えるまでは頑張っていこうと思った。
- 私は小学生の頃から推しがいたので、もしいるなら隙間時間や移動時間に推し活をしてしまうのも一手だと思います！

未来の想像

- 成績が良かった時のものを保存しておいて、過去の栄光にすがっていた。
- 受かったあとのことを考えたら楽しいですよ。
- 入試後のことを考える。
- 次の模試で点数をあげることを目標にする。
- とりあえず目の前の目標(宿題など)を終わらせようと思うこと。

食事・運動

- 寝て美味しいもの食べてさけぶ。
- 食べ物を食べる。
- 勉強に差し支えない程度で運動していた。

息抜き・学校

- いっそのこと、学校に楽しみを見出せるだけ見出して学校を楽しむ時間ととらえる。



Q12.スランプの乗り越え方

- 自分はここまで頑張ってきたからなるようになると思って勉強を続ける。
- 全て楽しんだ者勝ちって感じ。
- 逆に何も考えないでいたら割とだいじょうぶになりました。
- 基礎に戻って自信をつける。
- 同じくらいの点数の人をライバルにして、勝とうという意識で取り組んだ。
- めっちゃマイナスに考えて、最低まで行ってから上を目指す。

Q13.受験してよかった！と思った瞬間

入試結果

- 受験に受かったとき。
- 受かってお母さんと大泣きした時
- 大好きな先生たちにおめでとう、お疲れ様と言って貰えた時。
- 結果が報われた時。

定期考査・日常

- 中学校の定期考査でそれほど勉強しなくても点が取れたとき。
- 偏差値が上がった時。
- 理科の試験で全国5位、同性内1位になった時。
- 気づいたら結構いろいろな知識がついていて、日常で普通に生かせること。

中学校の充実さ

- 入学してしばらくたって、新しい友達と楽しく過ごせていたとき。
- 授業が本当に面白くて、「ここでしか受けられない授業」を受けられたとき。
- 自治活動に関われた実感が持てたとき。
- 部活動が楽しくて、部活仲間が新しくできたとき。

メッセージ

受かっても受からなくても、中学受験をしたという経験、そこで一度貯めた知識は、今後必ず役に立ちます。勉強の「結果」が現れる、報われるのは、受験だけではないです。



合格の文字を見たあの瞬間が本当に懐かしい！
あれってもう3年前なの!?

それだけ中学での日々が
楽しいってことだね！





この学校でしかできないことができた時って
「この学校入ってよかった！」って思うよね！

入試直前期について

Q1.家族にしてもらって嬉しかったこと かけてもらって嬉しかった言葉は?

食事・体調管理のサポート

- おいしいものを作ってくれること。
- 好きなご飯を作ってくれた。
- 塾から帰ってきてすぐにご飯が食べられるようにしてくれたこと。
- 毎日食事を作ってくれたこと。
- 自分が好きな料理を毎日作ってもらった。
- テキスト整理、丸つけ。
- 1/31に麦粒腫になったので、病院に連れて行ってもらったこと。

心の支え・言葉・配慮

- 塾の先生の「泣くっていうのは生理現象ですから」
- 「ここまで頑張ってきたから大丈夫」と言ってくれたこと。
- 頑張れ、緊張するな、などの言葉をかけられなかったことが逆に負担にならずよかったです。
- 褒められた時。
- 塾の先生から褒めてもらったことも嬉しかったです。

心の支え・言葉・配慮

- 試験の日に、私の好きな温かいココアを買ってくれたこと。
- 受験が終わった記念に推しのライブを連れていってくれたこと。
- 受験直前に推しのラジオにハガキを送って貰って運良く使われたこと。
- あらかじめ受験当日の動きを共有してくれたこと。

Q2.体調管理で気をつけていたことは？

体調管理・感染症

- ひたすら手洗いうがい、消毒をしてました。
- 人混みに行かないことと、しっかり寝ること。
- なるべく風邪にかからないように出かけるときは必ずマスクをすること。
- できるだけ外に出ない。
- 家から出ない。

生活リズム・薬・メンタル

- 起床時間を一定に保つこと。
- 主治医の先生から、直前に体調を整える薬を頂いた。
- RIを毎日飲んでいた。
- 気合いと根性でなんとかなる。できてなかったからこそ、インフルになった。
- 冬休みから学校に行きたくても我慢した。

Q3.受験前日どのように過ごしましたか?

生活リズム維持

- 早く寝て基礎をチェック。
- 特別なことはせずに、普通に早く寝ました。
- 夜遅くまではやらずに「絶対成功する」と思いながら早めに布団に入っていた。
- 起床時間を一定に保つこと。

過去問復習・解き直し

- サピ生はコアプラス過去問を解きました。
- 解いてなかった過去問を解いていた。
- 1月31日は前やった次の日受ける学校の過去問で間違えた問題を解いた。
- 2日は筑附の復習した。

スケジュール

- 午前中は受験をして、午後は合格発表を見た後にいつもやってるドリルをやりました。
- 1日は入試受けて31日同様次の日の過去問の復習してゆっくりして早めに寝た。
- 午前中は勉強していた。
- 別の受験校を受けて、そのほかは普段と同じように過ごした。

Q4.当日何時に起きましたか？朝何をしていましたか?

早起き・朝ごはん

- 家が遠いので5時には起きていた。
- 5時に起きて朝車が壊れていたのでタクシーを呼んでいました。
- 6時とかに起きていつも通り朝ごはん食べて。
- 6時半くらいに起きてご飯を食べました。
- 6:30くらい。
- 試験三時間前くらいに起きていました。
- 学校によるが、5時台か6時台前半に家を出たときもあったと思う。

朝のルーティーン

- 持ち物の準備などは前日にして、朝は余裕を持って家を出た.
- 6時、朝ごはんをしっかり食べた.
- ご飯を食べました。7時くらいだったような…
- 顔洗ったり、歯を磨いたりして、弁当と水筒入れて行ってきますって感じ。

出発前・移動中の電車

- 電車は混むので車内広告や人を観察してリラックスしていた。
- 電車などではいつも通りの会話を母としていた。
- 算数の毎日ドリルをやってから行きました。

Q5.試験開始まで何をしていましたか?

糖分摂取でリフレッシュ

- 糖分を摂取して、
  暗記物に取り組んでいた。
- お菓子を食べていました。
- インゼリーを飲んだ。

早起き・朝ごはん

- 瞑想。受験の雰囲気を楽しんでいました。
- 目をつぶり、ぼーっとしてました。
- 周りの人を観察していました。

意外と落ち着けます。

直前の見直し・テキスト

- 塾でもらったテキストや、自分の苦手分野をまとめたもの、塾のノートなどを見返していました。
- 地図帳をみたり、社会の予習シリーズをみたりして、こんな全部自分って覚えたんだーってことを感じて、自己肯定感上げてた。
- 自分がしやすいケアレスミスをまとめたノートを見てそれらを意識していた。
- 塾のテキストを読み、落ち着かせた。

Q6.当日「持っててよかった!」「あって助かった!」ものは?

体調維持・メンタル維持

- カイロ。
- 上着。
- 防寒着を持ってった方がいい。
- 学発でもらったおみくじ。(なぜか安心感ありました)
- これまで自分が解いてきたペーパー。(丸つけがされているもの)
- お守り、今まで勉強してきたノート。(見るとこれだけ頑張ってきたんだと自信を持てる)

お菓子系

- 一口で食べられるチョコレート。
- ラムネ 楽しい気分になれる。
- インゼリーは必須。

筆記用具

- 消しゴムとシャーペンは複数あれば落とした時のタイムロスが減る。

その他

- 机がガタガタで、ダンボールを持参して直したので持っていった方が良いかもです。

Q7.受験当日のエピソード

- 筑附は試験の時の座席は受付に着いた順(？)に座るのでなぜか1番の座席でした。なんの教科の先生かな、国語かなと試験前に考えていた。
- 筑波受験の日には鮮やかな青色のスウェットに白いズボンで行ってしまい、周りが制服みたいな服の方が多くて恥ずかしくずっとダウンを着ていました。帰りに全く同じ服装の全然知らない人がいてさらに恥ずかしかったです。
- 塾の先生が「最近出版されたばっかの文章が出ることもあるから読んでおけば」って渡してくれた文章がほぼそのまま問題としてでてきた。
- 隣の席の人が腕時計で遊んでいたこと。

体調維持・メンタル維持

- 同じ小学校の人に会った。
- 筑附の同じ受験教室に車椅子の人がいてびっくり、その人と1年生で同じクラスになった。
- 今と前の担任の先生が試験監督でした。
- 試験監督の先生がたまたま今の国語の先生。

試験前後の食事

- とある一月校を受けたときに、体調を崩して保健室受験をしました。終わった瞬間落ちたと思って、茗荷谷のサイゼで爆食いしました
- たまたま前日の夜にハンバーグを食べて当日の朝にパンケーキを食べたところは全部受かってた。

受験生へのメッセージ

Q.受験生の皆さんに伝えたいこと

どんな学校でも絶対入っちゃったら楽しいです！！
受験自体貴重な経験なので、とにかく今を楽しんでください。

受験頑張ってください！

結果がどうであれ過程があれば将来的に効いてくる部分があると思う。だから、自分に目標があるならそれに向けて漠然としたものでもやりたいことを追いかけ続けてください。

早寝早起き朝ごはんは鉄則です

音楽研究会に入りましょう(冗談)
天文研究会にも入りましょう(冗談)
会計予算審議係にも入りましょう(冗談)
どれも楽しいです！

雲の上はいつも晴れ
(辛いことがあっても、絶対に楽しいことがあるよ)
筑附に入ったら、他ではできない経験ができます！
嫌なこともそれはあるけれども、それを上回るくらい楽しいことが沢山あります
合格したら、学発準小になってね！

学校行事がとても楽しいので、それだけでこの学校に行く価値があると思います。中高一貫ではないため、附属高校には受験を経て入学できるか決まるので気を付けて。

家族や先生の話はちゃんと聞いておこうね！！
何があっても緊張し過ぎないで肩の力を抜いて頑張ってください✨

頑張ったら第一志望に絶対受かるとは言えないけど、頑張ったことは絶対生きるから頑張って
受験終わった後にやりたいことを今のうちに考えておくとモチベーションになると思う。

頑張れば報われます。

みなさんがこれまで積み重ねてきた努力を信じ、自分らしく挑戦してください。受験という経験を通して、たくさんのことを学び、考え、自分自身を成長させていけることを願っています。みなさんの挑戦を心より応援しています。

共学だから、魅力がたくさんあるし、自分で学校をよくできるよ。

筑附の学校生活には、自分たちで考えて、仲間と協力して挑戦できるチャンスがいつもあふれています。
失敗を恐れず、自分の「やってみたい」という気持ちを大切に、仲間と声を掛け合いながら、たくさんのことに一歩を踏み出してみてください。

ちょっと頑張ればそのあとしばらくはとても楽しい時間なので、諦めないでください。あと、歴史は高校受験でも使うので、サボらず頑張ることをお勧めします。

頑張れば実ります！

受験時代に優しくしてくれる人は神です。大切にしましょう。

今は特にしんどい時期だと思いますが、受験が終わったら確実に今より楽になるので頑張ってください！

意外と冷静に問題解ければ合格できる！

私は本当に社会が苦手で、偏差値50とか行く時もあって、かなりへこんでました。ですが、塾で配られた社会の一問一答を完璧にしたら60まで回復しました！努力は絶対に裏切らないです。

また、私は小学校が本当に楽しくなくて、受験勉強も大変で、かなりネガティブになっていました。そんな時は、附属中に入りたい！という自分の想いを再確認して頑張ってました。

あとは、勉強を好きになることが大切だと思います。難しくても1つずつ丁寧に解いていけば、いつかは絶対に勉強が得意になって楽しくなるはずです。

受験勉強は本当に辛くて大変だと思うし、遊びたくても遊べないとか不満も沢山あると思います。ですが、今頑張ればあと数ヶ月で楽しい未来がやってきます。テスト前日、いやテストが始まる1分1秒前まで学力は上がります。どうか最後の最後まで諦めないで、夢を掴み取ってください。皆さんが入学する頃私は卒業していますが、皆さんが後輩となって、いつかどこかで関われることを心から楽しみにしています。

最後に私が好きな言葉で締めたいと思います

Where there is a will,there is a way.ー意志あるところに道あり

祈🌸合格

編集後記

まずは、ここまで読んでくれてありがとうございます。
応援冊子の発案者（なのに冊子の編集は委員長に丸投げした）私、副委員長が後書きだけはやらせてください…ということで書かせていただきました。

私は筑附が第一志望で、入学してからも、筑附の新しい一面をたくさん知りました。人生が豊かになる授業、一生モノの友達…私にとってかけがえのない宝物が増えるたび、ここに来てよかったと思います。

そんな私が受験生だった頃、お世話になった塾の先生が入試直前にしてくださったお話の中で印象に残っているものがあります。「AKB」です。Aは「諦めない」、Kは「感謝」、Bは「Believe」。受験を乗り越えるために、この3つを大切にできる人は強い、というお話でした。

思えば、私は小5の時にコロナに感染したのをきっかけにスランプに陥っていました。当時はこの話を知りませんでしたが、諦めず自分を信じて勉強を続けたからこそ、当時の努力が今の私につながっているのかな、と思うことがあります。

でも、一生懸命に頑張ったからといって、必ずしも望んだ結果が待っているとは限りません。もしかしたら、今までで一番悔しい思いをすることになるかもしれない。

それでも私は、ひたむきに頑張り続ける時間が、無駄になることは決してないと思っています。いつか、その時間が思いがけない形で花開くことがあると、私は知っています。人生には、思い描いていた道とは違う道を歩いたからこそ、出会えるものもあります。私にとって、その一つが生徒会でした。入学当初の私は、生徒会副委員長として、皆さんに応援メッセージを贈る日が来るなんて思ってもいませんでした。でも、生徒会活動のおかげでかけがえのない仲間に出会え、これ以上ないくらい充実した日々を送れて、毎日がとても楽しいのです。

きれいごとのように聞こえるかもしれませんが、合格することが「最高の未来」なのではなく、その先で、自分が「ここに来てよかった」と思えることが、大切なのだと思います。だから、私は、みなさん一人ひとりに「私にとっての筑附」のような学校を見つけてほしい。それが本校だったら、これほど嬉しいことはありません。でも、「ここじゃないな」と感じたなら、それでいいんです。あなたが、自分のために頑張りたい、楽しみたい、と思える場所を見つけることが大切なのです。

この冊子が、その場所を見つけるための小さなきっかけになっていたら、生徒会として、受験の先輩として、これほど嬉しいことはありません。

どうか、あなたにとっての「ここに来てよかった」と思える場所が見つかりますように。

そして、そこで思いきり、あなたらしく咲けますように。

桐陰会　委員長陣　副委員長

筑波大学附属中学校

2026 委員長陣

